

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 発達療育 レンテ（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースの個室がある。 集団セラピーは参加人数を制限している。 動き回る遊びは、公園で行う事もある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		制度に基づいた人数を適切に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		注意事項のイラスト入りポスターや、活動内容の絵カードスケジュールを掲示、視覚的な手掛かりを工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		落ちていたゴミの誤飲につながらないように、フロアを清潔に保つようになっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		十分なスペースの個室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		社員が気になったことを共有できるよう、連絡アプリを活用している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適切に運用している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適切に運用している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は、現在実施の予定はない。	ニーズや必要性を社内でも検討の必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		ネット配信がある研修を活用する等、業務の空き時間を活用して、積極的に外部の研修を受講している。社内では定期的に勉強会や研修を実施、専門知識がある職員から指導、アドバイスを受けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に実施している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		適切に実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		適切に実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が定期的に支援を確認し、スーパーバイズを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		直接的な行動観察や、ご家族から家庭や学校での情報を聞き取り、アセスメントを行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		適切に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		シフト勤務で一同に会することは難しいため、連絡アプリや記録を活用している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節のイベントや興味や課題に合わせ、様々なプログラムを作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		適切に作成、支援が行われている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		適切に実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		適切に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動内容、目標行動、気になる行動など詳細な記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切に実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		適切に実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		要求の確認、聞き取り等、コミュニケーション支援に重点を置いて行っている。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催された際には、最も状況を理解している者が参加している。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		適宜、相互に見学や電話による情報共有を行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		適切に実施している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		引き継ぎの為セラピー見学や電話での情報共有等、積極的に情報共有を行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて実施している。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		適宜必要な研修に参加している。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	機会があれば参加したい。	放課後児童クラブ、学校の学童を利用する機会がある子どもが多く、現時点では特にニーズを感じていない。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○	区の連絡会には毎回参加している。	連絡会で地域課題の情報交換を行い、事業所として取り組める事を努めていく。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		個別セラピーの時は毎回、集団セラピーは毎月1回、保護者と面談の時間を持っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		毎月家族向けのウェブセミナーを実施、各家庭のニーズに合わせて、適宜ペアレントトレーニングを行っている。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		適切に実施している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		適切に実施している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		適切に実施している。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		対面の面談だけでなく、メールやLINEも活用して行っている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	兄弟との関わりのご相談にはアドバイスをさせて頂いている。保護者同士で交流する機会は現在ご希望を頂いていないが、ご希望次第で実施可能な形の検討をしていきたい。	保護者会はプライバシーやご負担を考慮し、積極的には行ってないが、ニーズがあれば耳を傾けて検討を進めていきたい。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適切に実施している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的な会報などは発信しておらず、手紙やメール、窓口への掲示、LINEなどにより適宜情報を発信している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		適切に運用している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーションツールとして、必要に応じてこどもには絵カードやタブレットを用意している。日本語が母国語ではない保護者向けに、翻訳機を用意している。	
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現時点では行ってないが、個人情報を保護しながら行える活動があれば検討していきたい。	公園遊びや外出プログラムの際関わる機会があり、個人情報の観点から特に広げる必要性は特に感じていない。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△		職員への周知はされているが保護者への周知はしていない。訓練は実施している。	各マニュアルの閲覧ができる配置をする。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		適切に実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	服薬、てんかん発作、アレルギーの有無等の状況は聞き取りを行っている。	引き続き、健康・安全管理上必要と思われる情報は保護者に確認していく。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		適切に実施している。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		適切に実施している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時と訓練時に周知している	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		適切に実施している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		適切に実施している。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		適切に実施している。		